



救急搬送 道間違い?!

—西日本防災システム

2016 03 03

重症の女性を救急搬送する際、こんなミスが!!

NBS
119

滋賀県甲賀広域行政組合消防本部は水口甲賀市の消防署が3月1日に信楽町内で発生した交通事故で重症となった69歳の女性を栗東市内の病院に救急搬送する際、新名神高速道路の信楽インターチェンジから誤って名古屋方向に進出し、病院到着に59分を要する遅延があったと発表したそうです。

通常経路を使用すればは30分ほどで到着する距離ですが、女性は頭を強く打って現在意識不明の重体となっているそうです。

甲賀署によりますと、事故は1日午後7時頃、甲賀市信楽町西の国道307号で、歩行中の女性が乗用車にはねられました。救急車には隊員3人が乗り込み、信楽ICに入る際、隊長が名神高速道路と接続する草津ジャンクションで栗東ICで降りるため名古屋方向に進行せよ、と事前に指示したそうです。この指示を運転していた28歳の女性隊員は、信楽ICから名古屋方向に向かうと誤解し、名古屋方向に進行、その後甲南ICを通過、車両火災の渋滞にも巻き込まれたようです。間違いに気づき、甲賀土山ICでUターンしたようです。信楽 - 甲賀土山間の往復約34キロを余分に走行し、病院到着が通常より30分程度遅れたそうです。重症の女性は現在も加療中で、意識は戻っていないそうです。女性の状態と遅延による影響は調査中とのことです。

救急で搬送されるかたは、命や人生、全てを預けて、託しています。業務に係っておられる方は皆さんプロですから、どうか どうか 慎重に 落ち着いて 普段通りに 職務を全うしてください!!



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ 